



# 江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより  
令和5年6月28日発行  
通算第547号

## 七夕の願いごと

校長 笹川カ

七夕は1年に1回、織姫と彦星が天の川を渡って会うことができる日ですね。ところで、なぜ「七夕=お願いごと」なのでしょう。そして、誰にお願いするのでしょうか。



七夕の原型は、中国の「乞巧奠（きこうでん）」という行事だそうです。乞巧とは「技巧を授かるように願う」「上達を願う」という意味。つまり、乞巧奠とは、織姫にあやかり、はた織りや裁縫の上達を願う儀式ということになります。ですから、お願い先は織姫で、習いごとの上達を願うのが、厳密に言えば七夕の由来に即したものとなります。



それでは、実際に子どもたちはどんな願いごとを書いているのでしょうか。まず、2023年にお父さん・お母さんに聞いた「子どもが短冊に書きそうな願いごとランキング」見てみましょう。

### 《親の予想》

1位：欲しいもののこと	5位：習いごとのこと
2位：友達や遊びのこと	6位（同率）：お金・お小遣いのこと
3位：勉強や成績のこと	6位（同率）：受験合格
4位：将来の夢：なりたいもののこと	

次に、子どもたちが実際に書く願いごとです。こちらは、2022年に小中学生、約1000人に調査した結果です。

### 《子どもの願い》

1位：恋愛関連（13%）	4位（同率）：友達関連（5%）
2位：勉強・受験（11%）	4位（同率）：平和への願い（5%）
3位：コロナ関連（6%）	

その他「スマホを買ってほしい」「推しに会いたい」「将来の夢が叶いますように」といった願いもありました。



別の調査なので、カテゴリーがまったく合致するわけではありませんが、子どもたちは親が思っているよりも大人で、広く物事を考えているような印象を受けます。江南小学校の子どもたちだと、どんなランキングになるのでしょうか。

「お願いごと」は「希望」「憧憬」「大志」「理想」などといった言葉とも親和性があります。願いごとがあつて、それを短冊に書くという行為は、それだけで人に前を向かせる機会になるのかもしれない。

